

# 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 井上満郎

### 2 所在地

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1

### 3 電話番号

075-415-0521

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

### 5 設立年月日

昭和 51 年 10 月 26 日

### 6 基本財産

932,366 千円（うち本市出えん額 932,366 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都市内の埋蔵文化財をはじめ，史跡，名勝等の文化財の調査，研究，保護及びその調査成果の公開，活用を行うとともに，文化財及び関連する施設等の管理を行うことにより，学術・文化の振興や地域社会の健全な発展等に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 埋蔵文化財及び史跡，名勝等の文化財の調査，研究及び保護に関する事業
- (2) 埋蔵文化財及び史跡，名勝等の文化財の活用及び保護意識の普及啓発に関する事業
- (3) 文化財及び文化財に関わる京都市から指定管理者の指定等を受けた施設の管理運営
- (4) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課（TEL075-366-1498）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

井上満郎

#### (2) 専務理事

荒木裕一（文化市民局文化芸術都市推進室担当部長）

#### (3) 理事

五十川伸矢，岩崎奈緒子，小椋純一，神山俊昭，鋤柄俊夫，高橋康夫，伊達仁美，玉置泰紀，西山良平，松田規久子

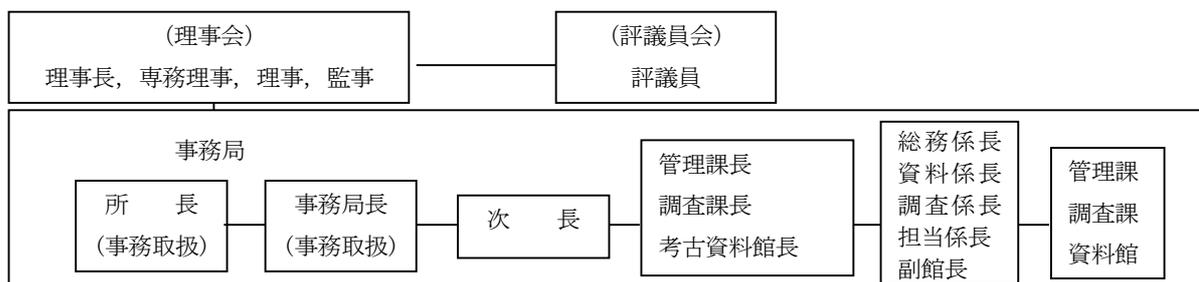
#### (4) 監事

柴田陽一郎，山口壮八（文化市民局文化芸術都市推進室文化財担当部長）

### 11 常勤役職員数

36 人（うち本市派遣職員 1 人）

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 令和2年度決算

#### (1) 事業報告

- ア 理事会及び評議員会の開催
- イ 発掘調査, 考古学的調査, 調査支援及び測量・保存処理・写真撮影等の実施
- ウ 京都市受託事業
  - (ア) 出土遺物の保管管理及び出土遺物の整理事業
  - (イ) 埋蔵文化財出土遺物指定準備事業
  - (ウ) 埋蔵文化財普及啓発事業
  - (エ) 史跡名勝等管理
  - (オ) 京都文化遺産保存活用事業
  - (カ) 京都市考古資料館指定管理
- エ 埋蔵文化財調査報告書の刊行
- オ 講演会・イベントの開催
  - (ア) 下京区・子どもたちに対する文化財普及啓発事業(デジタルスタンプラリー)に係る歴史スポット解説動画の素材作成(下京区役所委託事業)
  - (イ) 文化財講演会「五条坂の登り窯ー京焼今むかしー」
- カ 記者発表, 現地説明会の開催
- キ 「リーフレット京都」(No.375~No.386)の発行
- ク 全国埋蔵文化財法人連絡協議会への参加
- ケ その他研究会等への派遣
- コ 講師等の派遣
- サ 出前授業等
- シ インターネット(ホームページ・Facebook)による情報発信・開示
- ス 職員研修の推進等
- セ 京都市考古資料館事業
  - (ア) 特別展示の実施
    - a 「光秀と京 ~入京から本能寺の変~」  
(令和2年2月7日~11月23日)
    - b 「京都文化遺産を千年先へ!ー京都市文化財保護課の挑戦ー」  
(令和3年2月13日~6月20日)
  - (イ) 合同企画展の実施
    - 同志社大学歴史資料館・同志社大学考古学研究室との合同企画展  
「よみがえる京都のYayoiー同大生は見た!!ー」  
(令和2年12月15日~令和3年1月24日)
  - (ウ) 速報展・企画陳列の実施
  - (エ) 常設展示によるスポット展示
  - (オ) 外部施設での展示の実施
    - a 市役所分庁舎での考古資料展示
    - b 上京区総合庁舎での考古資料展示
    - c 京都アスニーでの考古資料展示
    - d 山科区役所「アートロードなぎつじ」における考古資料展示
  - (カ) 文化財講座の開催
  - (キ) 情報コーナーにおける普及啓発
    - 1階情報コーナーにおいて, 展示案内チラシやポスターを配布・掲示するとともに, 各種参考資料を整備し, 利用に供している。
  - (ク) 考古資料の貸出し

- (ケ) 博物館学芸員課程実習生の受入れ
- (コ) 教育機関の学外授業等の受入れ
- (サ) 関係機関等の見学受入れ
- (シ) 取材対応
- (ス) 博物館団体等他の関係機関との連携事業
- (セ) ボランティア研修事業
- (ソ) 考古資料館施設の修理及び整備

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
令和3年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	234,429	256,776	△22,347
未収金	126,708	93,937	32,771
未収消費税等	0	1,178	△1,178
流動資産合計	[361,137]	[351,891]	[9,246]
2. 固定資産			
(基本財産)			
土地	922,366	922,366	0
基本財産引当預金	10,000	10,000	0
基本財産合計	(932,366)	(932,366)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当預金	110,000	110,000	0
特定資産合計	(110,000)	(110,000)	(0)
(その他固定資産)			
建物	33,914	33,914	0
建物附属設備	7,599	7,599	0
構築物	552	552	0
什器備品	39,234	47,906	△8,673
減価償却累計額	△58,900	△65,211	6,311
電話加入権	354	354	0
その他固定資産合計	(22,753)	(25,114)	(△2,361)
固定資産合計	[1,065,119]	[1,067,480]	[△2,361]
資産合計	1,426,256	1,419,371	6,884
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	91,759	72,080	19,679
預り金	1,004	1,012	△7
仮受金	13,207	18,206	△4,999
賞与引当金	13,533	13,512	21
未払消費税等	13,351	495	12,856
流動負債合計	[132,854]	[105,304]	[27,551]
2. 固定負債			
長期借入金	611,000	624,000	△13,000
退職給付引当金	140,106	204,505	△64,400
固定負債合計	[751,106]	[828,505]	[△77,400]
負債合計	883,960	933,809	△49,849
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[932,366]	[932,366]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(932,366)	(932,366)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[△390,070]	[△446,804]	[56,733]
正味財産合計	542,296	485,562	56,733
負債及び正味財産合計	1,426,256	1,419,371	6,884

正味財産増減計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1	1	0
特定資産運用益	28	28	0
事業収益	591,482	510,554	80,928
発掘調査事業収益	(417,944)	(342,134)	(75,810)
受託事業収益	(173,538)	(168,420)	(5,118)
受取寄附金	20	242	△222
雑収益	1,992	1,250	742
経常収益計	593,523	512,075	81,448
(2) 経常費用			
事業費	512,472	504,439	8,033
管理費	60,455	55,360	5,095
経常費用計	572,927	559,799	13,128
当期経常増減額	20,596	△47,725	68,320
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	36,236	0	36,236
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	99	0	99
経常外費用計	99	0	99
当期経常外増減額	36,138	0	36,138
当期一般正味財産増減額	56,733	△47,725	104,458
一般正味財産期首残高	△446,804	△399,079	△47,725
一般正味財産期末残高	△390,070	△446,804	56,733
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	932,366	0
指定正味財産期末残高	932,366	932,366	0
III. 正味財産期末残高	542,296	485,562	56,733

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
正味財産増減計算書	経常収益	797,009	512,075	593,523
	当期経常増減額	47,416	△47,725	20,596
	当期正味財産増減額	47,416	△47,725	56,733
貸借対照表	総資産	1,558,960	1,419,371	1,426,256
	総負債	1,025,673	933,809	883,960
	正味財産	533,287	485,562	542,296

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
委託料	京都市考古資料館管理運営委託 〔指定管理 (非公募)〕	25,899	26,139	26,379
	埋蔵文化財の調査委託	328,216	200,461	269,750
	出土遺物文化財指定準備	27,000	27,250	27,540
	遺物保管委託	69,485	70,128	70,877
	出土遺物整理	10,000	10,093	10,200
	埋蔵文化財普及啓発委託	833	841	850
	史跡名勝等の管理委託	40,637	41,316	43,895
	史跡御土居危険木対策事業			5,000
	文化遺産保存活用事業			2,000
	考古資料館開館40周年記念事業		1,000	
	史跡公園等の緊急再整備	8,990		
	史跡公園等の災害復旧	9,500		
	出土文化財緊急保存処理	2,000	2,000	
貸付金	長期貸付金 (累計残高)	637,000	624,000	611,000

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<p>当期経常増減額は令和元年度は48百万円の赤字であったが、今期は21百万円の黒字となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業が中止になるなど影響はあったが、全体として黒字に転じたことは評価できる。</p> <p>また、平成26年度以降は、平成22年度から実施してきた本市からの長期貸付を実行せずに運営しており、経営努力には一定の成果が見える。</p>
事業面	<p>本市において、発掘調査を行うためには、地域の歴史や各時代の土層、遺物に関する専門的な知識と経験に基づく高水準の調査技術が必要である。</p> <p>当財団は、設立以来、それらを蓄積、維持し、公共事業をはじめとする本市におけるほとんどの発掘調査を受託し、適切に実施している。</p>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

<p>埋蔵文化財の発掘調査事業による収益が増加したことに加え、人件費等の経費節減により、最終損益が黒字化した。</p> <p>ただし、これは市からの職員派遣 (実質的に補助金と同等の効果) を前提としたものであることに留意する必要がある。</p> <p>また、当団体は、京都市から6.1億円の多額の借入金を抱えている。市の極めて危機的な財政状況を踏まえ、令和2年度の黒字を活用して、計画を前倒して返済するなど、団体の経営状況を見極めながら、可能な限りの対応を検討する必要がある。</p> <p>京都市では、行財政改革計画に基づき、職員削減をはじめとする厳しい歳出改革を進めていく予定となっていることを踏まえ、当団体においても、市の財政的・人的関与がなくても (縮小されたとしても)、学術・文化の振興に向けた社会的ニーズに自ら対応できるよう、発掘調査事業収入の増加など自主財源の強化等により、団体の自主性・自律性を更に高めていただきたい。</p>
--